

2021年度

京都府公立大学法人 京都府立医科大学

看護師特定行為研修

受講者募集要項

(2次募集)

〔 外科術後病棟管理領域コース
術中麻酔管理領域コース 〕

京都府立医科大学

1. 京都府立医科大学における特定行為研修の理念・目的・目標

1) 理念

本学は、京都府の医療を担う基幹大学であり、保健師助産師看護師法に基づく特定行為に係る看護師を養成する指定機関として、地域医療の質向上に貢献することを目指します。看護職としての社会的責任と役割を自覚し、新たな臨床看護の発展に寄与できる看護師を育成します。

2) 目的

本特定行為研修では、高度医療及び地域医療の現場において社会的責任と役割を自覚し、これらの医療福祉の中のキーパーソンとして高度な臨床実践能力を発揮できる看護職を育成します。

3) 目標

高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な包括的アセスメントを行い、倫理的かつ安全に特定行為を実践することができます。また、チーム医療のキーパーソンとして、多職種と協働して問題解決を図ることができます。

2. 募集コース

1) 外科術後病棟管理領域 13 区分 19 行為

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|-----------------------------|------------------------------|
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |
| | 人工呼吸器からの離脱 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 気管カニューレの交換 |
| 心嚢ドレーン管理関連 | 心嚢ドレーン抜去 |
| 胸腔ドレーン管理関連 | 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 |
| | 胸腔ドレーンの抜去 |
| 腹腔ドレーン管理関連 | 腹腔ドレーンの抜去 |
| 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 | 中心静脈カテーテルの抜去 |

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 |
| 創部ドレーン管理関連 | 創部ドレーンの抜去 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 |

2) 術中麻酔管理領域 6区分 14行為

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|--------------------|------------------------------|
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |
| | 人工呼吸器からの離脱 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 |
| | 橈骨動脈ライン確保 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 脱水症状に対する輸液による補正 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 |

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|---------------|-------------------------------|
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 |
| | 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 |

3) 募集人数

- (1) 外科術後病棟管理領域：5名
- (2) 術中麻酔管理領域：若干名

4) 研修期間

1年間（2021年4月1日～2022年3月31日）

5) 研修場所

京都府立医科大学、京都府立医科大学附属病院

6) 研修内容

研修は、特定行為区分に共通に必要なとされる能力を身につける「共通科目」と各特定行為に必要なとされる能力を身につける「区分別科目」に分かれています。全科目講義・演習又は実習を行い、共通科目履修後区分別科目を履修します。本学の研修は、講義はe-ラーニングで個別履修、演習・実習は集合研修となり、区分別科目では、OSCE合格後臨地実習を行います。

(1) 共通科目：7科目 250時間（外科術後・術中麻酔共通）

講義；192時間 演習；39時間 実習；12時間 評価；7時間

| 共通科目 | 時間数 | | | | |
|--------------|-----|----|----|----|----|
| | 講義 | 演習 | 実習 | 評価 | 合計 |
| 臨床病態生理学 | 27 | 2 | | 1 | 30 |
| 臨床推論 | 35 | 8 | 1 | 1 | 45 |
| フィジカルアセスメント | 39 | 3 | 2 | 1 | 45 |
| 臨床薬理学 | 35 | 9 | | 1 | 45 |
| 疾病・臨床病態概論 | 34 | 4 | | 2 | 40 |
| 医療安全学/特定行為実践 | 22 | 13 | 9 | 1 | 45 |

(2) 区分別科目

①外科術後病棟管理領域（共通・区分別の総研修時間 404.5 時間）

区分別科目：13 科目 19 行為 154.5 時間

講義；130 時間 演習；14 時間 OSCE；2 時間 評価；8.5 時間
症例；95 症例（5 症例/行為）

| 区分別科目 | 時間数 | | | | |
|---|-----|----|------|-----|-------------|
| | 講義 | 演習 | OSCE | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9 | | 0.5 | 0.5 | 10 5 症例 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連 | 21 | 8 | | 1 | 30 20 症例 |
| 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 | 8 | | 0.5 | 0.5 | 9 5 症例 |
| 心嚢ドレーン管理関連 | 8 | | | 0.5 | 8.5 5 症例 |
| 胸腔ドレーン管理関連 | 12 | 1 | | 1 | 14 10 症例 |
| 腹腔ドレーン管理関連 | 8 | | | 0.5 | 8.5 5 症例 |
| 栄養に係るカテーテル管理（中心静 脈カテーテル管理）関連 | 7 | | | 0.5 | 7.5 5 症例 |
| 栄養に係るカテーテル管理（末梢留 置型中心静脈注射用カテーテル管 理）関連 | 8 | | 0.5 | 0.5 | 9 5 症例 |
| 創部ドレーン管理関連 | 5 | | | 0.5 | 5.5 5 症例 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 9 | | 0.5 | 0.5 | 10 5 症例 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与 関連 | 14 | 2 | | 1 | 17 10 症例 |
| 術後疼痛管理関連 | 7 | 1 | | 0.5 | 8.5 5 症例 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 14 | 2 | | 1 | 17 10 症例 |

②術中麻酔管理領域（共通・区分別の総研修時間 354 時間）

区分別科目：6 科目 14 行為 104 時間

講義；83 時間 演習；15 時間 OSCE；1.5 時間 評価；4.5 時間

症例；70 症例（5 症例/行為）

| 区分別科目 | 時間数 | | | | |
|--------------------|-----|----|------|-----|--------------|
| | 講義 | 演習 | OSCE | 評価 | 合計 |
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9 | | 0.5 | 0.5 | 10 5 症例 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 21 | 8 | | 1 | 30 20 症例 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 13 | | 1 | 1 | 15 10 症例 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 10 | 1 | | 0.5 | 11.5 5 症例 |
| 術後疼痛管理関連 | 7 | 1 | | 0.5 | 8.5 5 症例 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 23 | 5 | | 1 | 29 25 症例 |

7) 修了要件

共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験・実技試験・実習などの観察評価などの科目ごとの合格を条件とします。修了認定は、関係指導者で審議の上、特定行為研修管理委員会で判定します。なお、修了者には、修了証を授与します。

3. 応募要項

1) 応募資格

- (1) 日本国内における看護師免許を有すること
- (2) 看護師免許資格取得後 5 年以上の実務経験を有すること
そのうち通算 3 年以上は関連する領域の実務経験を有することが望ましい
- (3) 所属する機関の施設長又は所属長の推薦を受けられること
- (4) 学業優先で受講可能であること
- (5) 特定行為研修修了後、特定行為を行い、看護の発展と社会貢献を行う意志があること

2) 受講申請書類 (各書類の「※受験番号」は記入不要)

- (1) 受講申請書 (様式1)
- (2) 履歴書 (様式2)
- (3) 受講志望理由書 (様式3)
- (4) 受講推薦書 (様式4)
- (5) 受講同意書 (様式5)
- (6) 看護師免許証の写し (A4サイズに縮小コピーしたもの)
- (7) 専門看護師、認定看護師などの認定証の写し (有資格者のみ)
- (8) 写真2枚 (履歴書に添付したものと同一写真)

※裏面に「受講年度」「受講コース名」「氏名」「生年月日」を記入

※提出された受講申請書類はいかなる理由でも返却いたしません。

3) 受講申請書類提出方法

上記2)の書類を、下記宛先に「簡易書留」で郵送して下さい。

所定様式(受講申請書・履歴書・受講志望理由書・受講推薦書・受講同意書)は、看護実践キャリア開発センターのHPよりダウンロードできます。

封筒の表書きに「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きで明記して下さい。

【宛先】(特定行為研修事務局)

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

京都府公立大学法人 京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター 宛

4) 受講審査料

- (1) 特定行為研修受講審査料 30,000円(税込み)
- (2) 振込先口座

銀行名 京都銀行 本店営業部

口座名義 京都府立医科大学収入口 京都府公立大学法人

キョウトフツイカダ イガクシュウニュウガチ キョウトフコリツダ イガクホジシ

口座番号 普通預金 4217922

※受講希望者本人の氏名で振り込んで下さい。手数料はご本人負担です。

入金された受講審査料はいかなる理由でも返金いたしません。

5) 受講申請書類提出・受講審査料振込締切

~~2020年7月20日(月)～2020年8月24日(月)当日消印有効~~

～2020年11月30日(月)当日消印有効

※提出された書類と入金の確認後、受験票と受験当日の注意事項等を本人宛簡易書留にて郵送いたします。

6) 選考方法

書類選考、筆記試験（論述式）、面接

7) 選考試験日時

~~2020年9月5日（土）10時～（9時30分：受け付け開始）~~

2020年12月12日（土）10時～（9時30分：受け付け開始）

8) 選考試験会場

京都府立医科大学 看護学学舎 1階

（詳細は、8ページの【アクセスマップ】をご覧ください。）

※お車での来校はご遠慮願います。

9) 選考結果発表

~~2020年9月25日（金）頃（郵送）~~

2020年12月25日（金）頃（郵送）

選考結果の通知は、本人宛簡易書留にて郵送します。

※電話等でのお問い合わせにはお応えできませんので、ご了承下さい。

10) 受講手続き

合格通知書と一緒に詳細をご案内します。

なお、受講に当たっては、指定する賠償責任保険に加入していただきます。

4. 受講費用について

1) 研修受講料

①外科術後病棟管理領域：1,000,000円(税込み)

②術中麻酔管理領域：800,000円(税込み)

納付書は、合格通知に同封いたします。

振込氏名は、受講者本人の氏名にして下さい。ご所属からのお振込みの場合は、備考欄に受講者の氏名を必ず記載すること。

手数料は、ご本人負担となります。

※入金後は、いかなる理由でも返金いたしません。

2) 賠償責任保険

一般社団法人 日本看護学校協議会共済会の研修補償制度

加入手続きは、事務局にておこないます。保険料（¥8,360）並びに手数料は、ご本人様負担となります。

①保険料

・研修用 Will（5,470円/年）

・e-kango 看護職賠償責任保険（2,890円/年） 合計：8,360円/年

②補償額

・1事故につき：1億円（3事故まで）

5. その他

e-ラーニングを利用した履修をしますので、各自持ち運べるパソコン等（カメラ機能付き）をご準備下さい。カメラ機能がない場合、パソコンに付属できるカメラを準備して頂くことがあります。

6. 問い合わせ先（特定行為研修事務局）

〒602-8566

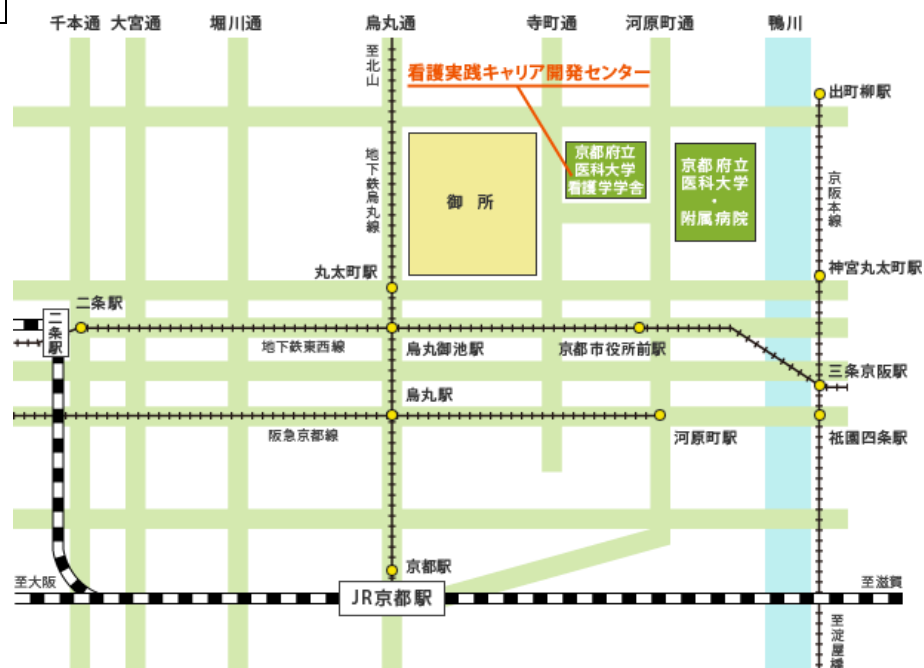
京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

京都府公立大学法人 京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター

TEL (FAX) 075-212-5422

メール careinfo@koto.kpu-m.ac.jp

アクセスマップ



【市バス】

「府立医大病院前」下車、徒歩すぐ

JR 京都駅から 4、17、205 系統

三条京阪から 37、59 系統

四条河原町から 3、4、17、205 系統

【市営地下鉄（東西線）】

「京都市役所前駅」下車、徒歩 20 分

又は

市バス「京都市役所前」から 3、4、17、37、59、205 系統

「府立医大病院前」下車、徒歩すぐ

【京阪電車】

「神宮丸太町駅」又は「出町柳駅」下車、徒歩 15 分

京都府立医科大学 看護師特定行為研修
受講申請書

年 月 日

京都府立医科大学長 殿

私は、京都府公立大学法人 京都府立医科大学における特定行為研修を受講
したいので、申請いたします。

コース名 _____

フリガナ
氏名 (自署) _____ 印

※受験番号 _____

履 歴 書

年 月 日現在

| | | | | |
|-------------|-------------|--|--------|---|
| ふりがな 氏 名 | | | | 写真 4×3cm 6ヶ月以内の写真 写真裏面に記名し て貼付 |
| 生年月日 | | 昭和・平成 年 月 日生 () 歳 | | |
| 現住所 | | 〒 _____ TEL () 携帯 e-mail (PC) _____ @ _____ | | |
| 勤 務 先 | ふりがな 名 称 | | | |
| | 所在地 | 〒 _____ TEL () | | |
| | 施設長名 | | | |
| | 所属長名 | | | |
| | 申込者の職種 | | 申込者の職位 | |
| 学 歴 | (西暦) 年 月 | 高等学校卒業から、記載して下さい。 | | |
| | | 高等学校 卒業 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 職 歴 | (西暦) 年 月 | 施設名、配属診療科名、配属期間を記載してください。 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 現在の職務 | 所属部署の名称 | 職務内容 |
|-------|----------------------------|------|
| | | |
| | 免許・資格・学位 | |
| | 学会及び社会における活動 (所属学会；役職等) | |
| | 研修受講歴 (5日以上) | |

※受験番号 _____

(様式3)

受講志願理由書

_____年 月 日 氏名 _____

看護師特定行為研修受講の志願理由、および研修修了後の抱負を1600字以内で記載すること。

※受験番号 _____

(様式4)

受講推薦書

年 月 日

京都府立医科大学長 殿

施設名 _____

推薦者職位 _____

推薦者氏名（施設長又は看護部長）

_____ 印

京都府公立大学法人京都府立医科大学の看護師特定行為研修の受講者として

_____ 受講志願者氏名 _____ を推薦します。

推薦理由（修了後、貴施設で期待する役割や組織としての展望などもご記入ください）

※受験番号 _____

(様式5)

受講同意書

年 月 日

京都府立医科大学長 殿

受講志願者氏名 _____

上記の者が、京都府公立大学法人京都府立医科大学の看護師特定行為研修を受講申請することを許可します。

施設名 _____

(施設長)

職 位 _____

氏 名 _____ 印

(所属長)

職 位 _____

氏 名 _____ 印